

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AIJYU松沢		
○保護者評価実施期間	2024年12月20日		～ 2025年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2024年12月20日		～ 2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・天候に左右されることなく、利用者が体を動かすことが出来る空間(プレイルーム)があります。また、園庭(ブランコや滑り台)があります。	・プレイルームや園庭を最大限に利用して集団活動や個別活動を取り入れ体幹を鍛えています。	・危険がないように環境整備に努め、安全に過ごせるように点検をしたり、職員内で話し合いをしています。
2	・体調不良の利用者や感染症の疑いがある利用者を隔離したり、安心して静養できるスペースがあります。 ・気持ちを落ち着かせたり、集中ができるスペースがあります。	・日頃から話し合いをしたり、感染症の研修を行っています。 ・クールダウンをする個室を用意したり、段ボールの家をいくつも作りました。	・研修の成果、感染症が起きた場合対応ができます。 ・保護者や利用者の気持ちや思いを聞いて、安心できる場所作りに努めています。
3	・突然の利用や送迎に対応ができます。	・保護者の思いを受け止め、急なお願いに対応しています。	・お茶会をひらいたり、保護者の声に耳を傾けています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・当日、空間が広いので職員同士の共有がとりにくいです。	・確認をしているが、思うように職員が把握できていません。	・報告、連絡、相談をどの職員もこまめにしていきます。
2	・動線が長いので、移動に時間がかかります。また、職員の配置場所の把握が必要です。	・職員同士で声をかけあいが上手くいかないことがあります。	・配置場所を図で書き、見える化して周知します。
3	・地域との交流が少ないです。	・地域との交流ができるような活動、イベントを職員で考えていきます。	・地域との交流を考えたものを実行に移します。